



2020年3月期
通期決算補足説明資料

2020年5月27日

株式会社 ライドオンエクスプレスホールディングス
(証券コード：6082)

損益計算書（修正予想比）－ 連結

売上高210億円（修正予想比+0.1%）、経常利益13.1億円（修正予想比△15.8%）

- GW長期化による特需、自社ポイントなどのマーケティング戦略により、売上は順調に推移。
- 売上は順調に推移したものの、食材ロスの発生、自社ポイント施策によるコスト増、イトイン新業態の検証コスト、新型コロナウイルス対策費用などにより、経常利益は修正予想比△15.8%

| (単位：百万円) | 20.3期 通期 修正予想(連結) | 20.3期 通期 実績(連結) | 修正予想比 |
|------------|----------------------|--------------------|---------|
| | 下段： 売上構成比% | 売上構成比% | 達成率% |
| 売上高 | 21,006 | 21,034 | +28 |
| | - | - | +0.1% |
| 営業利益 | 1,557 | 1,379 | △178 |
| | 7.4% | 6.6% | △11.4% |
| 経常利益 | 1,560 | 1,314 | △246 |
| | 7.4% | 6.2% | △15.8% |
| 当期純利益 | 979 | 798 | △181 |
| | 4.7% | 3.8% | △18.5% |
| 1株当たり当期純利益 | 93.22円 | 75.99円 | △17.23円 |

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

連結業績推移 – 通期累計

2020.03
通期業績

既存事業好調により売上増加。創業以来過去最高益を更新。

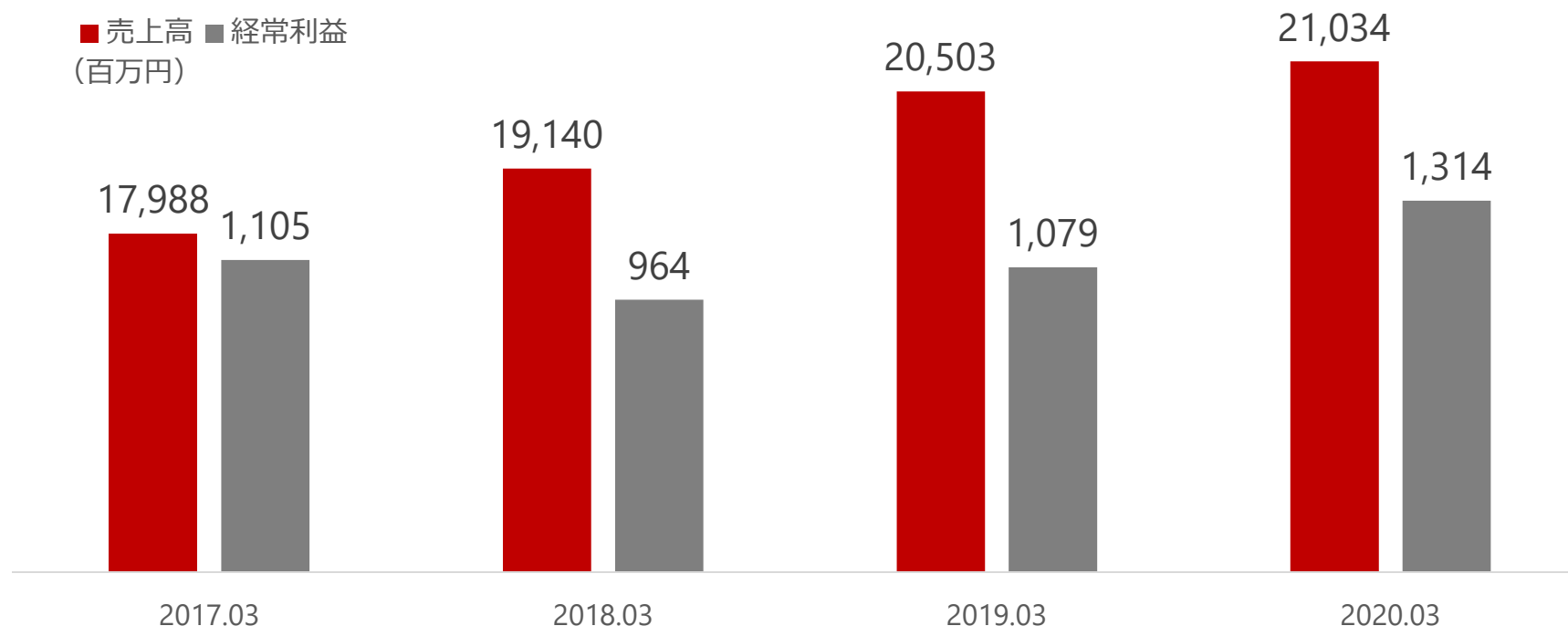
<売上高> 前期比+530百万円、前期増減率+2.6%

- GW長期化による特需、配達品質の向上、自社ポイント施策などのマーケティング戦略、メニュー改定等により、チェーン売上が好調に推移。
- 2020年3月は新型コロナの自粛影響により、パーティ需要に影響。

<経常利益> 前期比+234百万円、前期増減率+21.7%

- 売上高増加により増益となるものの、前期に発生した有価証券売却益との差異等により、増減率+21.7%となった。

■ 売上高 ■ 経常利益
(百万円)



連結業績推移 – 第4四半期

2020.03
4Q業績

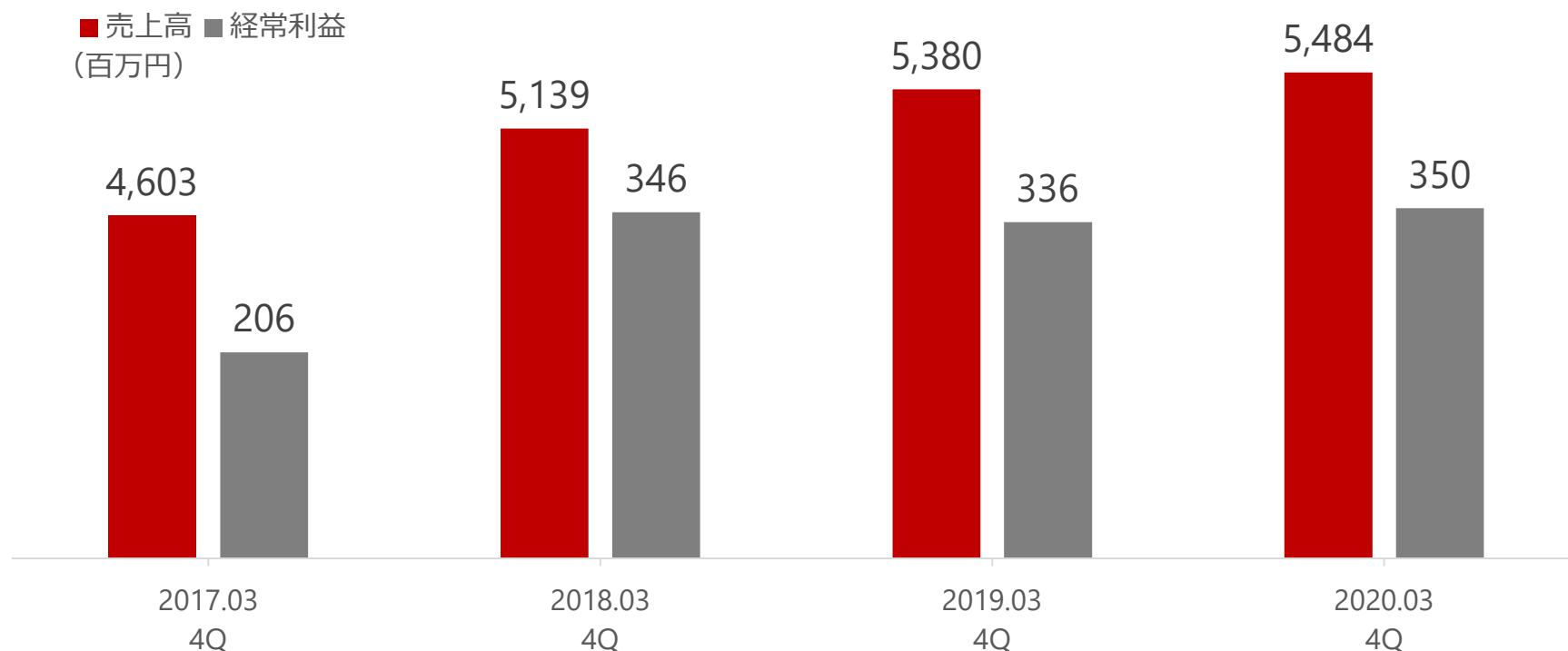
年末年始効果で売上増加。各種経費増により経常利益は微増。

<売上高> 前期比+104百万円、増減率+1.9%

- 新型コロナウイルスによる自粛増により年度末の大人数での注文需要が減ったものの、在宅による個人からの注文は増加。
- 繁忙期である年末年始売上が順調に推移したことで当四半期の売上増。

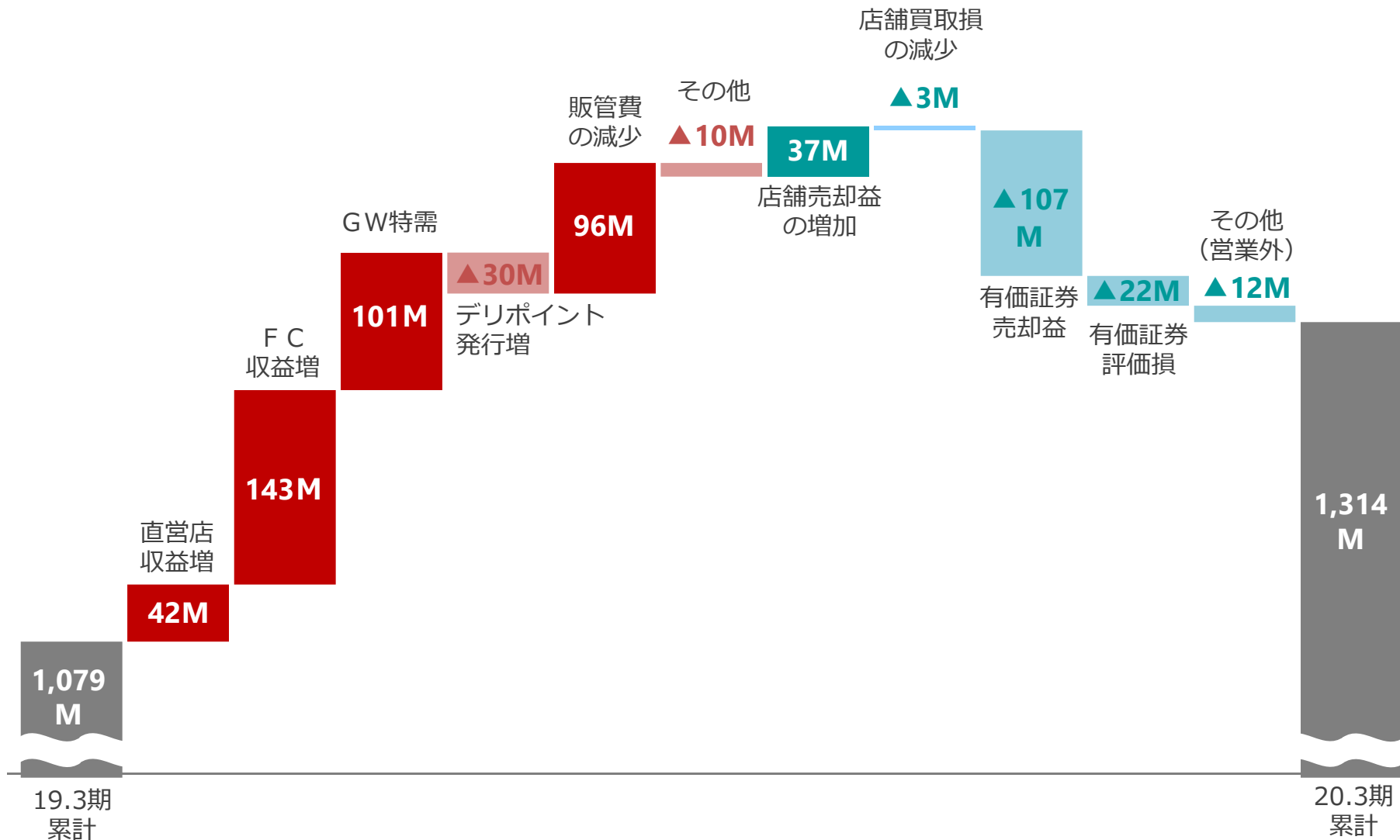
<経常利益> 前期比+14百万円、増減率+4.2%

- 繁忙期などで売上が増加するものの、店舗買取に伴う初期費用や、来期に向けた期末広告、イトイン店舗出店などの経費により微増。



経常利益の前期比増減の構成 通期累計

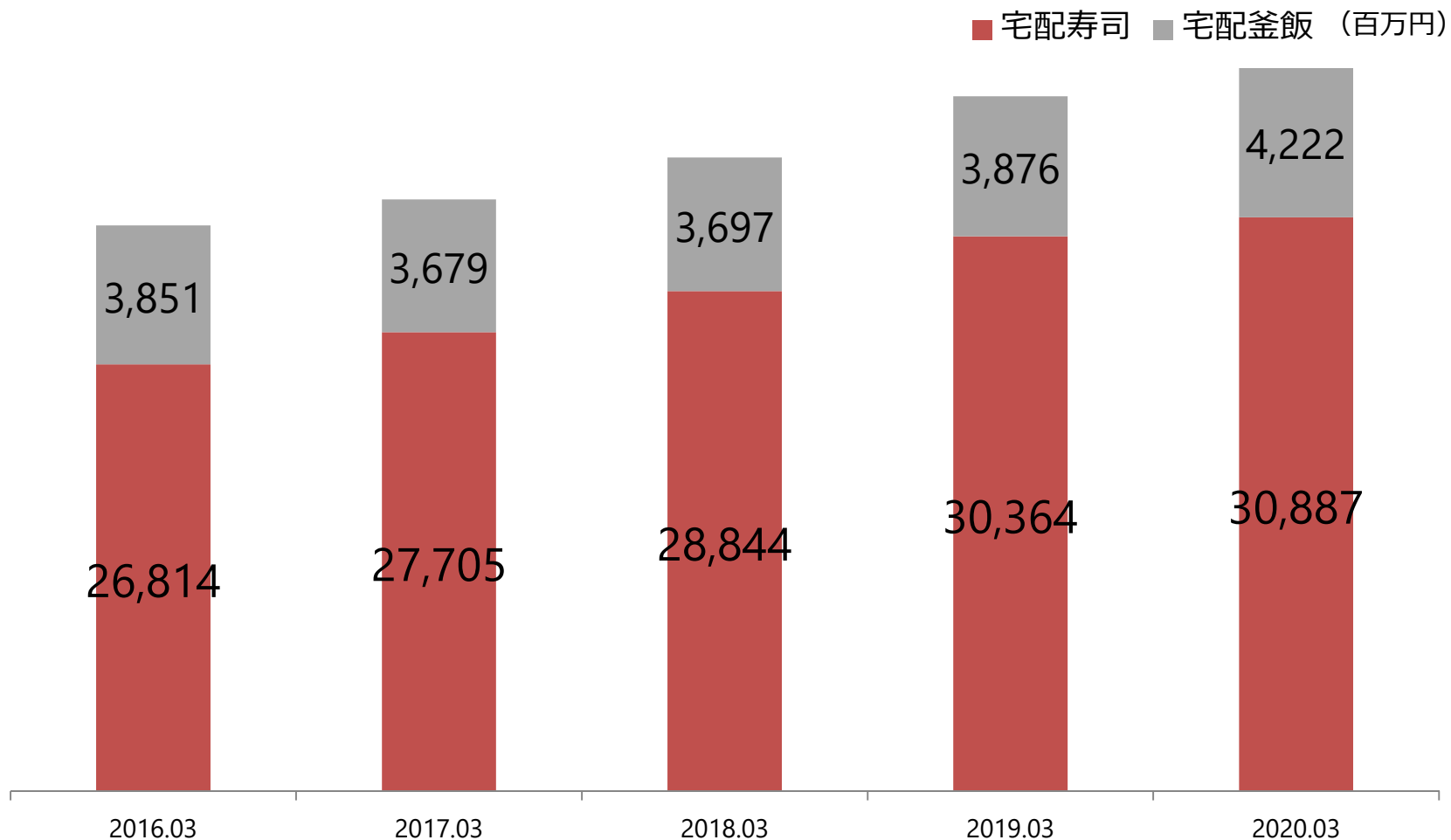
2019年特有のGW期間の長期化による特需と、既存事業の好調が大きく影響



当社チェーン総売上高 - 既存事業

宅配寿司、宅配釜飯共に成長。宅配釜飯は40億円を突破。

- 令和元年による祝日日数増や、営業戦略が功を奏し、宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」ともに売上は好調に推移。



店舗数・拠点数の増減

釜寅の付設出店を促進した結果、店舗数は4店舗増加。

| 事業形態 | ブランド | 19.3期末 店舗数 | 出店 | 閉店 | 20.3期末 店舗数 |
|-------|---------|---------------|----|----|---------------|
| 宅配事業 | 銀のさら | 359 | － | △3 | 356 |
| | 釜寅 | 191 | 8 | △1 | 198 |
| | すし上等！ | 150 | － | △2 | 148 |
| 宅配代行業 | ファインダイナ | 44 | － | － | 44 |
| その他 | 和食レストラン | 0 | 2 | － | 2 |
| 合計 | | 744 | 10 | △6 | 748 |

| | 19.3期末 拠点数 | 拠点開設 | 拠点閉鎖 | 区分変更 | 20.3期末 拠点数 |
|-----|---------------|------|------|------|---------------|
| 直営店 | 104 | 1 | － | △3 | 102 |
| FC店 | 265 | － | △3 | 3 | 265 |
| 合計 | 369 | 1 | △3 | 0 | 367 |

連結B/S 対前期末

当期純利益計上等により純資産+689百万円。自己資本比率55.9%（前期末52.8%）

| (単位：百万円) | 19.3期末 | 20.3期末 | 前期比 | ポイント |
|--------------|--------|--------|------|--|
| 流動資産 | 6,457 | 6,807 | +349 | 資産 +683百万円 ----- 【流動資産】+349百万円 ・ 現金及び預金 +502百万円 ・ 原材料及び貯蔵品 △125百万円 ・ その他 △108百万円 【固定資産】+333百万円 ・ 建物及び構築物 +185百万円 ・ 工具、器具及び備品+96百万円 ・ 無形固定資産 +60百万円 |
| (うち現預金) | 3,492 | 3,994 | +502 | |
| 有形固定資産 | 681 | 905 | +224 | |
| 無形固定資産 | 368 | 429 | +60 | |
| 投資その他資産 | 2,398 | 2,447 | +48 | |
| 資産合計 | 9,906 | 10,589 | +683 | 負債 △6百万円 ----- 【流動負債】+440百万円 ・ 未払法人税等 +184百万円 ・ ポイント引当金 +127百万円 ・ 未払金 +88百万円 【固定負債】△446百万円 ・ 長期借入金 △443百万円 |
| 流動負債 | 2,898 | 3,338 | +440 | |
| (うち1年内有利子負債) | 440 | 440 | 0 | |
| 固定負債 | 1,775 | 1,328 | △446 | |
| (うち1年超有利子負債) | 1,276 | 832 | △443 | |
| 負債合計 | 4,673 | 4,667 | △6 | 純資産 +689百万円 ----- 【株主資本】+693百万円 ・ 当期純利益 +798百万円 ・ 配当金支払額 △105百万円 |
| 株主資本 | 5,196 | 5,889 | +693 | |
| 純資産合計 | 5,232 | 5,922 | +689 | |
| 負債・純資産合計 | 9,906 | 10,589 | +683 | |

20.3期 4Qトピックス

- 宅配寿司「銀のさら」にて"大生エビ&炙り大エビ"を期間限定で発売
- 天然物のエビだからこそ味わうことができるトロっとした甘みと、プリプリとした身が口の中に広がる旨味を存分にお楽しみいただけます。



- 宅配御膳「釜寅」にて季節に合わせた新商品を販売
- 今年1月より「白エビと桜エビの釜飯」などを新発売。季節ごとの美味しい食材を使用した釜飯をお楽しみいただけます。



- おかげさまで宅配寿司「銀のさら」は20周年
- 皆様に愛されて今年で20周年を迎えることができました。感謝の気持ちを込めて、今年1月より「20個のお・も・て・な・し」を開催！各種キャンペーンを年間を通じて展開してまいります。



- 新型コロナウイルス感染予防の対策として様々な取り組みを推進
- 衛生管理はもちろんのこと、ご希望のお客様には「置き配」の対応を実施しています。



通期業績予想 – 連結

売上高221億円（前期比+5.1%）、経常利益16.1億円（前期比+22.7%）

- 新型コロナウイルス影響による在宅率の増加に伴う、デリバリー需要増を見込む。
- 上記需要増やWEB注文増による生産性向上効果で、当期純利益10億円を目指す。

| (単位：百万円) 下段： | 20.3期 通期 実績(連結) | 21.3期 通期 予想(連結) | 前期比 |
|-----------------|--------------------|--------------------|---------|
| | 売上構成比% | 売上構成比% | 前期増減率% |
| 売上高 | 21,034 | 22,103 | +1,069 |
| | - | - | +5.1% |
| 営業利益 | 1,379 | 1,604 | +225 |
| | 6.6% | 7.3% | +16.3% |
| 経常利益 | 1,314 | 1,612 | +298 |
| | 6.2% | 7.3% | +22.7% |
| 当期純利益 | 798 | 1,000 | +201 |
| | 3.8% | 4.5% | +25.3% |
| 1株当たり当期純利益 | 75.99円 | 94.53円 | +18.54円 |

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

ディスクレイマー

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予測なしに変更する可能性があります。

また、本資料には、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測ならびにリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報、将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。